

小学校第2学年 学級活動学習指導案

日時：平成 年 月 日（ ）第 限

指導者：T1 教諭

T2 栄養教諭（学校栄養職員）

場所：

1 題材名 たべもののグループわけをしよう <学級活動（2）>

2 題材の目標

- ・食べ物が持つ働きや、体の中での働きによって3つのグループに分けられることを理解している。【知識・理解】
- ・3つのグループの食べ物をバランスよく食べようとする意欲を持っている。【関心・意欲・態度】

3 指導にあたって

（1）教材観

健康な体を保持するためには、バランスのとれた食事をとることが大切である。現在では、食べ物が豊富に出回り、栄養が不足するということはないように思われる。しかし、家庭の食事は、子どもの嗜好に合わせた料理が作られることが多く、また、バランスを考えた料理が出てもし好きなものだけを食べて、嫌いなものには手をつけないといった偏った食事をとっているという傾向もある。

成長期の子どもたちにとって、必要な栄養素をバランスよくとることは、健康な体をつくる上で大切なことである。そこで、食べ物の働きや、体の中での働きにより3つのグループに分けられることを知り、3つのグループの食べ物をバランスよく食べようとする意欲を育てることをねらいとして本題材を設定した。

（2）児童観

食生活実態調査（平成20年6月本事業調査）を見ると、主食、汁物、主菜、副菜といったバランスのとれた朝食を摂っている児童は約11%（小学3年生）と少ない。それ以外は、主食のみや主食と汁物だけといった内容の朝食が多く、バランスのとれた朝食とはいえない。児童は1年生の時に、健康な体作りや生活リズムにとって朝ごはんは大切であるということを知っているが、食べ物のグループ分けや3つのグループの食べ物をバランスよく摂らなければいけないことまでは学習していない。また、食べ物のグループ分けに関しては、見た目の色などで判断しがちであり、食べ物の体の中での働きによって3つのグループに分けられるということを知っている児童は少ないと思われる。

（3）指導観

本時の導入では、はてなボックスを使って実物の食べ物を出すことで児童の興味や関心を高めたい。また、食べ物を黄・赤・緑の3色の皿にのせていくことで視覚に訴え、さらに、なぜそのように分けるのかという疑問を持たせ、学習に積極的に取り組めるようにする。食べ物の働きや3つのグループ分けについては、栄養教諭から話を聞くことで児童の関心をさらに高めていきたい。また、児童の活動の場面など、わかりにくいところは栄養教諭が助言できるようにし、最後まで意欲的に取り組むことができるようにしていきたい。

さらに、朝食で何を食べたかを調べて自分の食生活に興味を持たせた上で、ワークシートを用いた3つのグループ分けを行い、健康な体を作るために3つのグループの食べ物をバランスよく摂ろうとする意欲につなげていきたい。

指導後は、朝食で足りなかったものや学習の様子を学級だよりを通して保護者へ伝えたり、日々の給食時間において、材料のグループ分けを実践してみることで、3つのグループの食べ物をバランスよく摂ることを意識づけていきたい。

4 食育の視点

- ・様々な食品にはそれぞれ栄養的な特徴があること。【心身の健康】
- ・日常食べている食品や料理の名前や形を知ること。【食品を選択する能力】

5 題材の指導・評価計画（総時数1時間）

次	学習活動	指導上の留意点	評価基準等
事前調査	・自分が食べた朝ごはんに使われていた食べ物を書く。	・朝ごはん調べを行い、児童の実態を把握する。 (ワークシート)	
(1) 本時	・食べ物を3つの皿に分け、なぜそのように分けられるのか、栄養教諭の話聞く。 ・食べ物を3つのグループに分けてみる。	・実物の野菜を見せることで興味・関心を持てるようにする。 ・自分が朝食で食べたものを3つのグループに楽しく考えながら分けることができるようにする。 ・自分の思いをしっかりと書けるようにする。	○食べ物は体の中での働きにより、3つのグループに分けられることを理解している。 【知識・理解】 ○3つのグループの食べ物をバランスよく食べようとする意欲を持つようとしている。 【関心・意欲・態度】
事後指導	・日々の給食時間において、3つのグループ分けを考える。	・学習内容や活動を学級だよりや給食だよりで知らせ、家庭へも働きかけをする。	

6 本時の学習（第一次 第1時）

(1) 本時のねらい

- ・食べ物が持つ働きや、体の中での働きによって3つのグループに分けられることを知り、3つのグループの食べ物をバランスよく食べようとする意欲を持つことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・食べ物の体の中での働きを理解し、食べ物を3つのグループに分けることができる。【知識・理解】
- ・3つのグループの食べ物をバランスよく食べようとする意欲を持っている。【関心・意欲・態度】

(3) 準備・資料

はてなボックス、食品、3色の皿（黄・赤・緑）、3つの働きを示すカード、食材カード、ワークシート

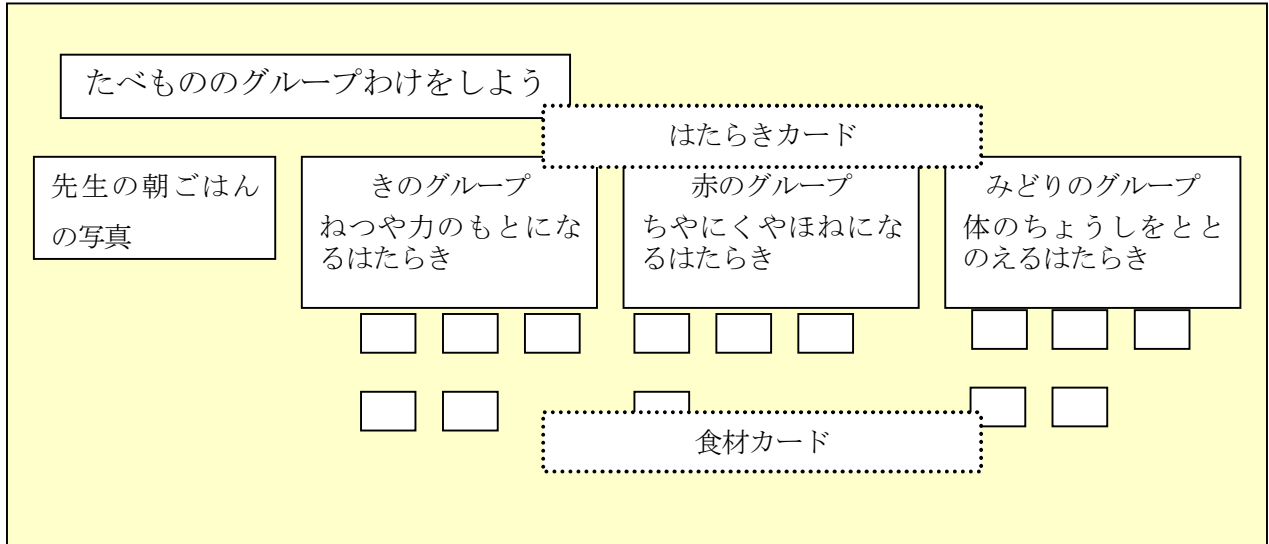
(4) 本時の展開

時間 (分)	学習活動	予想される児童の意識の流れ	●支援と◇評価・留意点
5	1 食べ物(実物)を見て名前を発表する。	<p>何が入っているのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜だよ。 ・お肉かな。 <p>先生の朝ごはんに使ったものだよ。</p>	T1 はてなボックスから朝食に使われた食べ物(実物)を興味を引くように取り出す。
5	2 3つの皿に分けた理由を考える。	<p>どうしてこのように3つの皿にわけたのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の色で分けたよ。 ・使われている材料や調味料で分けたよ。 ・作った所やとれる所で分けたのかな。 ・働きで分けたよ。 <p>食べ物のグループわけをしよう</p>	T1 食べ物の働き別に3色の皿の上に見えやすいように並べる。
10	3 食べ物のグループ分けについて話を聞く。	<p>食べ物は、体の中での働きによって3つのグループに分けられ、それぞれ違った働きがあるよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黄…熱や力のもとになる働き ・赤…血や肉や骨になる働き ・緑…体の調子を整える働き <p>3つのグループのおもな食べ物には、こんなものがあるよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黄…ごはん、パン、うどん、いも、さとう、油、木の实 ・赤…肉、魚、卵、牛乳、豆、かいそう ・緑…野菜、くだもの 	T2 食べ物の3つの働きとそれぞれの食べ物を皿の上の食品を示しながら説明する。 T2 食材カードを示して、主な食べ物をグループ分けする。
3	4 3つのグループをバランスよくとることが大切であることを知る。	<p>黄・赤・緑の3つのグループの食べ物がそろっていることが大切だよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのグループの食べ物がそろっていないとだめなんだね。 	T2 板書を見ながら、バランスよくとることが大切であることを説明する。
12	5 食べ物を3つのグループに分ける。	<p>自分が食べた朝ごはんの食べ物を3つのグループに分けてみよう。</p> <p>たまねぎは野菜だから緑のなかまだね</p> <p>自分の朝ごはんには3つのグループがそろっているかな？</p>	◇食べ物を3つのグループに分けることができる。 【知識・理解】(ワークシート) T2●わかりにくい食べ物や迷った食べ物があれば、なぜそのグループに入っているのかを説明する。
10	6 今日の学習でわかったことを書く。	<p>今日の活動でわかったことや思ったことをプリントに書き、発表しよう。</p> <p>3つのグループの食べ物をそろえることが大切なんだね。</p>	◇3つのグループの食べ物をバランスよく食べようという意欲を持っている。 【関心・意欲・態度】(ワークシート、発言) T1●思ったことを書けない児童には、書き上げている児童の言葉を示し、参考になるようにする。

7 他教科との関連

取り上げた食材を生活科などで実際に栽培して、成長を観察するなどして身近なものとして追求できるようにする。

8 板書計画



9 資料

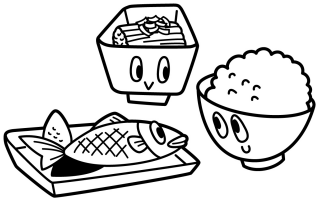
- ・ はてなボックス
- ・ 食品、3食の皿（赤・黄・緑）
- ・ 3つの働きを示すカード（別紙2）
- ・ 食材カード（実物大そのまま食材カード：群羊社）
- ・ 事前指導ワークシート（別紙1）



あさごはんしらべ

なまえ

★ あさごはんであべたものをかきましょう

りょうりのなまえ	入っていたたべもの
(れい) みそしる	しいたけ にんじん とうふ みそ
	

わからないときは おうちの人にきいてみよう！

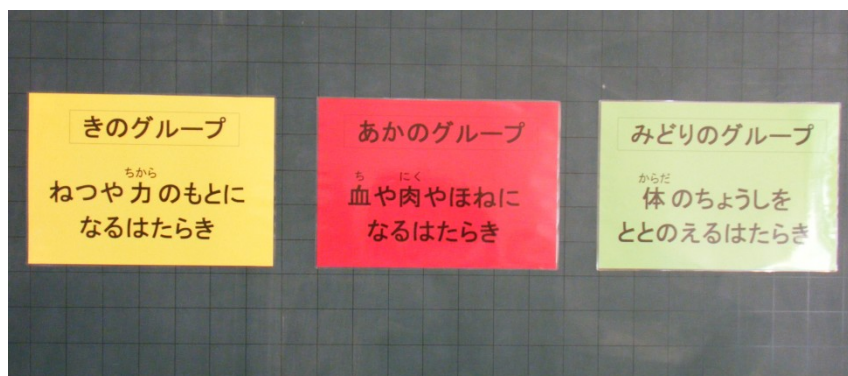
はてなボックス



黄・赤・緑の皿



はたらきカード



たべもののグループわけ

別紙2

なまえ

★じぶんのたべたあさごはんを3つのグループにわけてみましょう。

きのグループ

あかのグループ

みどりのグループ

きょうのがくしゅうでわかったことをかきましょう。
